

韓国人学習者のための日本語の複合動詞*

—JPT日本語能力試験対策用のリスト作成—

李 忠 奎**

(e-mail : ch4229@hanmail.net)

<目次>

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. はじめに | 4. 調査結果と分析 |
| 2. 先行研究の概観 | 4.1. 採集した複合動詞の延べ語数と異なり語数 |
| 2.1. 배덕희(2001) | 4.2. JPT用のリスト |
| 2.2. 이혜경(2009) | 4.2.1. JPT用のV1 |
| 2.3. 張威(2009a, 2009b, 2010) | 4.2.2. JPT用のV2 |
| 3. 調査概要 | 4.2.3. JPT用の複合動詞 |
| 3.1. 調査対象 | 5. まとめ |
| 3.2. 調査方法と内容 | |

キーワード：複合動詞(Compound Verb)、JPT日本語能力試験(Japanese Proficiency Test)、複合動詞データベース(Compound Verb Database)、延べ語数(Token frequency)、異なり語数(Type frequency)

1. はじめに

韓国人学習者が日本語を流暢に駆使するために、正確な理解と十分な学習を必要とする項目に「彼を見直したよ」のような複合動詞の表現が挙げられる。そこで、日本語の複合動詞の効果的な指導・習得のために「韓国人学習者のための日本語の複合動詞」のリストを作成し、それについての分析を行うことは重要であると言える。このような認識のもとで李忠奎(2016)では、複合動詞研究者に要求される課題として、①韓国人中級学習者のための複合動詞、②韓国人上級学習者のための複合動詞、③JLPT日本語能力試験対策用の複合動詞、④JPT日本語能力試験対策用の複合動詞、⑤韓国人学習者

* This work was supported by the Ministry of Education of the Republic of Korea and the National Research Foundation of Korea (NRF-2015S1A5A8012828)

** 西原大大学校、助教授、対照言語学

が特に頻繁に接する複合動詞、⑥韓国人学習者が日本語らしい日本語を駆使するために必要な複合動詞、⑦上記①～⑥に全て含まれる複合動詞、の7つのリスト作成が必要であることを提案した。

本稿は、これらのリストのうち、④JPT日本語能力試験対策用(以下、JPT用)の複合動詞のリストを作成し、それらについての分析を試みようとするものである。

2. 先行研究の概観

本節では、本稿の分析において大いに参考になる幾つかの先行研究について概観する。具体的には、日本語教育・複合動詞リスト・資料の提供といったキーワードを挙げる事ができるものとして、배덕희(2001)・이혜경(2009)・張威(2009a, 2009b, 2010)を取り上げ、調査対象と採集した具体例を確認する。

2.1. 배덕희(2001)

배덕희(2001)は、複合動詞の教育に活用できる資料の提供を目的とするもので、日本と韓国で出版された各4種の日本語学習書(計8種)と193曲の日本の歌から複合動詞を採集し、(1)の例を両者に共通して見られるものとして提示した。

- (1) 言い出す、生み出す、打ち上げる、受け入れる、映し出す、思い出す、決めつける、繰り返す、すれ違う、黙り込む、付き合う、連れ出す、出合う、乗り込む、吐き出す、光り輝く、見つける、見つめる、見失う、見送る、見かける、呼び止める、わき上がる (以上、23語)

同氏は、複合動詞の教育と関連して、どのような語を提供すべきかという複合動詞選定の問題と、どのように指導すべきかという指導方法論の問題を慎重に検討すべきであると指摘しており、(1)の例はこのような認識のもとで調査されたものである。

1) 同試験は日本語を母国語としないビジネス関係者と日本語学習者を主な対象として、日常的な場面・状況での機能的なコミュニケーション能力を客観的に測定・評価することを目的とするものである。聴解(100問)・読解(100問)の客観的なテストだけでSpeakingとWritingという能動的な能力までも含めた日本語によるコミュニケーション能力を総合的に評価するように設定されている(http://exam.ybmnet.co.kr/jpt/japan/japan01_1.asp)(検索日:2017.02.20. 引用者による微修正)。なお、紙面の都合上、③JLPT日本語能力試験対策用の複合動詞のリストとその他のリストは、稿を改めて作成・分析することにする。

2.2. 이혜경(2009)

이혜경(2009)は、韓国の高校日本語検定教科書に見られる複合動詞を分析したものである。具体的には、第7次教育課程において編集された『日本語Ⅰ』12種と『日本語Ⅱ』4種から「複合動詞²⁾」を抽出し、「動詞+動詞」型の例としては以下のようなものを報告している。(2)が『日本語Ⅰ』から、(3)が『日本語Ⅱ』から採集した個別例である。

- (2) うちならず、思い出す、書き終わる、立ち並ぶ、食べすぎる、できあがる、
 問い合わせる、とりすぎる、飲みすぎる、召し上がる、持ち込む (以上、11語)
- (3) 歩きすぎる、歩き出す、歌いすぎる、恐れ入る、落ち着く、思いきる、思い出す、
 吸い込む、かき回す、切りすぎる、咲き始める、しすぎる、使いすぎる、問い合わせ
 る、通りすぎる、飛び付く、取り出す、習い始める、泣き出す、登り始める、乗り換
 える、乗り過ごす、話し合う、増えすぎる、吹き出す、誉めすぎる、見下ろす、召し
 上がる、やりすぎる、焼きすぎる、読みすぎる、笑い出す (以上、32語)

同氏は、1)第6次教育課程より第7次教育課程において「動詞+動詞」型の複合動詞の例が激減したこと、2)従って現在、高校課程においては複合動詞の教育が体系的に行われていないこと、3)今後、日本語教科書に複合動詞を導入する際は、「～はじめる」「～おわる」「～すぎる」「～出す」のような高頻度の動詞が優先されるべきであること、などを主な結果として指摘している。この研究成果は韓国の高校における複合動詞教育の現状が把握できるという点で大いに参考になる。

2.3. 張威(2009a、2009b、2010)

張威(2009a、2009b、2010)は、日本の小・中・高校の国語教科書を対象にして、母語話者に対する国語教育における複合動詞の実態調査を施したものである。張威(2009a)では小学校国語教科書36冊から、張威(2009b)と張威(2010)とではそれぞれ中学校国語教科書9冊と高校国語教科書8冊から複合動詞を抽出し、小・中・高の国語教科書全体で検出した複合動詞上位100語を提示した(張威2010: 78-77)。(4)はその内、「近づく、気づく」のような「動詞+動詞」型ではないもの(計10語)は除外した具体例である。なお、幾つかの例における右上の数字は、原文における出現頻度の順位を示したものである。

2) 広範囲なもので、「名詞+動詞」型・「動詞+動詞」型・「形容詞(形容動詞)+動詞」型・「副詞+動詞」型の複合動詞を含める。

- (4) 思い出す¹、繰り返す、話し合う、立ち上がる、見詰める、振り返る、見つめる、作り出す、見付ける¹¹、出会う、飛び出す、見上げる、出かける、受け取る、取り上げる、引っ張る、出掛かる、差し出す、振り向く²¹、取り出す、生み出す、立ち止まる、思い浮かべる、見回す、飛び込む、歩き出す、見守る、見渡す³¹、取り入れる、見つける、引き返す、作り上げる、話しかける、覗き込む、落ち着く、受け入れる、組み合わせる、持ち出す⁴²、取り組む、書き出す、成り立つ、逃げ出す、起き上がる、通り過ぎる⁵¹、投げ出す、飲み込む、辿り着く、乗り込む、見送る、見下ろす、睨み付ける、泣き出す、取り付ける、握りしめる⁶¹、吸い込む、言い出す、出来上がる、見直す、押し付ける、歩き回る、歩き始める、持ち上げる、出し合う⁷¹、飛び回る、飛び去る、呼びかける、見合わせる、噛み付く、駆け回る、入りこむ、受け止める、投げ込む⁸¹、聞き取る、言い換える、引き出す、引き摺る、飛び上がる、入り込む、書き出す、引っ越す、追い掛ける⁹¹、読み返す、読み取る、飛び立つ、行き着く、見張る、考え出す、考え込む、忍び寄る、思い付く¹⁰⁰ (以上、90語³⁾)

張威(2009a: 29)は「母語話者が如何なる学習段階で、どれくらいの複合動詞を、どんな方法で、具体的にどのような語彙を習得しているか、どのような特徴があるかは、第二言語教育にとって極めて参考になるため、総合的な実態調査を実施した上で、複合動詞を多目的に研究するための総合的なデータベースを構築することは特に重要である」と指摘しており、(4)の例はこのような認識のもとで採集されたものである。

以上、学習書や教科書などの実態調査を行った幾つかの先行研究を概観したが、そこで提示されている複合動詞の具体例は参考になり、教材作成の際などにも活用することができよう。しかし、今まで調べた範囲では、JPT用の複合動詞を公開した先行研究は見当たらない。このような現状の中で、韓国人学習者を念頭においたJPT用の複合動詞のリストを作成すれば、その成果は日本語の複合動詞に関する基礎資料として参考になるはずであり、教育現場での活用も期待される。本稿ではそのリスト作成を目指す。

3) 順位7位の「見詰める」と順位9位の「見つめる」、順位11位の「見付ける」と順位33位の「見つける」は区別されているが、同一動詞とみれば、異なり語数と順位は修正を加える必要があるだろう。

3. 調査概要

3.1. 調査対象

調査対象は、研究の目的上、1)JPT用の書籍として認められていること、2)JPT専門家の韓国人の著者が含まれており、韓国で出版されていること、3)韓国語訳が付されていること、4)知名度を考慮し、2版以上のものを原則とするが、初版の場合は2刷以上のものであること4)、5)韓国の主要出版社が含まれていること、の諸条件を満たすものとし、後続研究で行われる冒頭の他のリストの作成も念頭に置いて最終的には以下のようなものを選定した。なお、表1における番号は単に採集作業を行った順番を示したものであり、そこに特別な意味はない。

〈表1〉 調査対象の概要

| 番号 | タイトル (略語) | 著者 | 出版社 | 発行(最新号) | ページ | 種類 |
|----|---|---------------|------------|------------|-----------------|-----|
| 1 | 유형별·주제별로 똑똑하게 정리한 JPT 보카 한권으로 끝내기 (보카) | 윤준호 박재욱 | 다락원 | 初版2刷(2010) | 9~492 | 語彙集 |
| 2 | JPT 답이 보이는 단어장 (단어장) | 이종권 | YBM | 初版2刷(2012) | 11~499 | 語彙集 |
| 3 | 한권으로 끝내는 JPT VOCA (한권) | 강성광 | YBM | 改訂1刷(2015) | 11~636 | 語彙集 |
| 4 | 일본어 어휘의 달인이 되는 법 (달인) | 강성광 | 사람in | 改訂3版(2014) | 9~768 | 語彙集 |
| 5 | 시나공 일본어 VOCA 15000 (시나공) | JPT초고수 위원회 | 길벗 | 初版7刷(2015) | 7~716 | 語彙集 |
| 6 | JLPT·JPT VOCA KING (KING) | 김기범 | 성안당 | 改訂1刷(2012) | 13~912 | 語彙集 |
| 7 | JPT 점수를 확 올려주는 5가지 시험요령 & 30가지 급소포인트 (급소) | 서경원 | 시사 | 改訂5刷(2015) | 13~367 | 問題集 |
| 8 | 다다익선 JPT 독해 PART5/6/7 (독해) | 서경원 오유유키오 | YBM | 初版2刷(2015) | 9~311 | 問題集 |
| 9 | 다다익선 JPT 독해 PART8 (다다익선) | 서경원 | YBM | 初版1刷(2013) | 10~289 | 問題集 |
| 10 | JPT 정기시험 기출문제 1000 (기출10) | 허윤정 | YBM | 初版3刷(2015) | 19~304 | 問題集 |
| 11 | JPT 기출 2000 정해 (기출20정) | 서경원 | YBM 일본어 | 初版5刷(2013) | 23~545 3~135 | 問題集 |
| 12 | JPT 기출 2000 독해 (기출20독) | 서경원 | YBM | 改訂1刷(2015) | 23~607 | 問題集 |
| 13 | 600점에 딱 맞춘 JPT (딱600) | 이장우 | 사람in | 初版4刷(2014) | 7~390 | 問題集 |
| 14 | 800점에 딱 맞춘 JPT (딱800) | 이장우 | 사람in | 初版3刷(2013) | 11~378 | 問題集 |
| 15 | JPT 답이 보이는 실전모의고사1 (실전) | 허윤정 최지연 | YBM 일본어 | 初版4刷(2015) | 5~180 | 問題集 |

注)出版社：「시사→시사일본어사」「길벗→길벗이지톡」「YBM→YBM더텍스트」

語彙集と問題集からなる全15冊で、調査するページの合計は約7,361ページである。本来ならより多くの書籍を対象にするのが望ましく、十分な量とは言い難いが、筆者本人の手作業による調査であることと、冒頭で言及した他のリスト作成のための調査も考慮して、

4) ただし、初版1刷の書籍であっても、収録の内容から本稿の資料として選定する必要があると判断した場合は例外的に調査対象に含めることにする。

本稿では上記の15冊を対象にして分析を行うことにする。

3.2. 調査方法と内容

調査は、表1の15冊の書籍に生起する「動詞＋動詞型の複合動詞を有する例文とその韓国語訳」を抽出し⁵⁾、Excelを利用してデータベースを構築するという方法で行った。

〈表2〉データベースの基本構成(その1)

| | CV | P | 読み | V1 | V2 | 国 | 出典 | リスト | 頻度1 | 頻度2 |
|---|-------|-----|---------|----|-----|---|------|-----|-----|-----|
| 1 | 掃き集める | 53 | はきあつめる | 掃く | 集める | 韓 | 딱800 | ②④ | 1 | 1 |
| 2 | 見習う | 149 | みならう | 見る | 習う | 韓 | 단어장 | ④ | 1 | 5 |
| 3 | 泣き付く | 204 | なきつく | 泣く | 付く | 韓 | 다다익선 | ④ | 2 | 4 |
| 4 | 乗り換える | 55 | のりかえる | 乗る | 換える | 韓 | KING | ③④ | 4 | 14 |
| 5 | 話し続ける | 629 | はなしつつける | 話す | 続ける | 韓 | 시나공 | ③④ | 1 | 1 |
| 6 | 組み立てる | 339 | くみたてる | 組む | 立てる | 韓 | 한권 | ④ | 1 | 10 |

〈表3〉データベースの基本構成(その2)

| | … | 原文の例文 | 原文の韓国語訳 | 容認可能形 |
|---|---|------------------|-----------------------|----------|
| 1 | … | ほうきで落ち葉を掃き集めている。 | 빗자루로 낙엽을 쓸어 모으고 있다. | 쓸어 모으다 |
| 2 | … | 本当に見習うべき人ですね。 | 정말 본받아야 할 사람이죠. | 본받다 |
| 3 | … | 担任の私によく泣き付いてきた。 | 담임인 내게 자주 울며 매달렸다. | 울며 매달리다 |
| 4 | … | 電車からバスに乗り換える。 | 전차에서 버스로 갈아타다. | 갈아타다 |
| 5 | … | さっきまで話し続けていたのに、 | 조금 전까지 계속 이야기하고 있었는데, | 계속 이야기하다 |
| 6 | … | 部品を組み立てて完成させる。 | 부품을 조립하여 완성시키다. | 조립하다 |

注) 「…」は表2におけるCVから頻度2までの省略を意味する。

表2と表3は幾つかの具体例を用いて、データベースの基本構成を示したものであるが、そこには複合動詞の基本形(CV)・収録ページ(P)・CVの読み方(読み)・前項動詞(V1)・後項動詞(V2)・書籍の出版国(国)・用例の出典(出典)・冒頭のリスト番号(リスト)・各書籍における延べ語数(頻度1)・全書籍における延べ語数(頻度2)・原文の例文⁶⁾・原文の韓国語訳・容認可能な対応形(容認可能形)⁷⁾の情報が収められている。

5) 「本日は詰め替え用シャンプーが半額でございます」(『ボカ』:165)のような場合は、見出し語「詰め替える 다시 채워 넣다」の名詞形の例が提示されているので除外した。また、「向かい合う 마주보다」「明け暮れる 세월을 보내다」(『ボカ』:24、289-293)のように例文は挙がっておらず、単に見出し語とその韓国語訳のみが提示されている場合もその語の実際の用いられ方が分かりにくいという点で考察外にした。また、問題集を対象にした場合、例えば「お口に合いますか。冷めない前に早く召し上がってください」(『缶書』:45)のような誤文訂正の問題として出された文は、「前に→うちに」のように必要な修正を加えた形を例文として抽出した。

6) 作業の都合上、例文によっては副詞などの修飾語を端折って提示することもある。

7) Excelのフィルター機能を使うと、例えば、「見習う、乗り換える」の韓国語訳として「본받다, 갈아타다」以外に「보고 배우다, 환승하다」も用いられていることがすぐ確認できる。

基本的に本稿では上記のデータベースを活用し、出現頻度に基づく計量的な観点から、JPT用のリスト作成を試みる。なお、今後、遂行予定の複合動詞に関する様々な分析を考慮し、上記のデータベースに追加する情報として、代表的な対応形・韓国語との対応の仕方及びその下位分類・研究テーマ・自他の項目も設けようと考えている。表4はその試案である。

〈表4〉データベースの拡張バージョン

| | … | 代表的な対応形 | Kとの対応の仕方 → 下位分類 | 研究テーマ | 自他 |
|---|---|-----------|-----------------|-------------------------------------|----|
| 1 | … | 쓸[으] 모으다 | 1:1 → 「어」型 | 「掃いて集める」との意味上の相違 | — |
| 2 | … | 보[고] 배우다 | 1:1 → 「고」型 | 「見て習う」との意味上の相違 | — |
| 3 | … | 울[고] 매달리다 | 1:1 → 「며」型 | 「泣いて抱きつく」との意味上の相違 | — |
| 4 | … | 갈아타다 | 1≠1 → 「V2+V1」型 | 時間との類像性(iconicity)の問題 ⁸⁾ | — |
| 5 | … | 계속 이야기하다 | 1≠1 → 「副詞+V1」型 | 「続けて話す」との意味上の相違 | — |
| 6 | … | 조립(組立)하다 | 1≠1 → 「漢字+する」型 | 「漢字+する」型に属する同類の例 | — |

注) 「…」は表2と表3におけるCVから容認可能形までの省略を意味する。

ちなみに、代表的な対応形は、兪長玉(1993:175-176、193、206、208)・양호성(2013:75-76)において、辞書や文学作品に収録されている対応形を批判的に検討せずそのまま提示した結果、非効率的な分類が行われている(李忠奎2015:185-188)、という問題を解決するために設けるものであり、韓国語との対応の仕方及びその下位分類は、どの複合動詞を優先的に指導すべきかということ念頭において加えるものである。また、研究テーマは、文字通りに各例と密接に関連のある研究テーマを提供するために追加するものであり、自他という項目は、辞書によって自動詞か、他動詞かの記述が異なる例がかなり見られ、その原因究明の必要性から設けようとするものである⁹⁾。

上記のようなデータベースは、本稿の目的である④JPT用の複合動詞のリスト作成とその他のリスト作成、それから、後続研究として行う複合動詞と関連する分析をも考慮して構築したものであり、日本語教材の編纂などにおいて様々な形で活用できると思われる。そのような意味で、複合動詞に関する研究成果としてその意義は十分あると考える。

8) 影山太郎(1999)『形態論と意味』くろしお出版、pp.188-189.

9) 表4の自他の項目に情報を収録するためには、複数の辞書を対象にした自他記述に関する調査が必要であり、筆者の今までの調査では、計154語の複合動詞に自他記述の不一致の問題が確認された。この問題については李忠奎(2009:64-66)を参照されたい。但し、李忠奎(2009)において「自他記述」の問題を「品詞記述」の問題と分析したのは、用語選択における間違いである。

4. 調査結果と分析

4.1. 採集した複合動詞の延べ語数と異なり語数

今回の調査を通して得られた複合動詞は計5,020語であった。表5は各書籍における延べ語数と異なり語数を示したものである。

〈表5〉各書籍における複合動詞の延べ語数と異なり語数

| | タイトル | 略語 | 延べ語数 | 異なり語数 |
|-----|--------------------------------------|-------|--------|--------|
| 1 | 유형별·주제별로 똑똑하게 정리한 JPT 보카 한권으로 끝내기 | 보카 | 224語 | 176語 |
| 2 | JPT 답이 보이는 단어장 | 단어장 | 220語 | 172語 |
| 3 | 한권으로 끝내는 JPT VOCA | 한권 | 484語 | 320語 |
| 4 | 일본어 어휘의 달인이 되는 법 | 달인 | 665語 | 404語 |
| 5 | 시나공 일본어 VOCA 15000 | 시나공 | 803語 | 634語 |
| 6 | JLPT·JPT VOCA KING | KING | 752語 | 319語 |
| 7 | JPT 점수를 확 올려주는 5가지 시험요령 & 30가지 급소포인트 | 급소 | 61語 | 48語 |
| 8 | 다다익선 JPT 독해 PART5/6/7 | 독해 | 234語 | 172語 |
| 9 | 다다익선 JPT 독해 PART8 | 다다익선 | 479語 | 235語 |
| 10 | JPT 정기시험 기출문제 1000 | 기출10 | 281語 | 188語 |
| 11 | JPT 기출 2000 정해 | 기출20정 | 205語 | 146語 |
| 12 | JPT 기출 2000 독해 | 기출20독 | 212語 | 156語 |
| 13 | 600점에 딱 맞춘 JPT | 딱600 | 141語 | 108語 |
| 14 | 800점에 딱 맞춘 JPT | 딱800 | 147語 | 104語 |
| 15 | JPT 답이 보이는 실전모의고사1 | 실전 | 112語 | 75語 |
| 합 計 | | | 5,020語 | 3,257語 |

各書籍における異なり語数の数字を単純に合計すると、3,257語となる。平均すると1冊당당りに約217語の複合動詞が収録されていることになり、JPT日本語能力試験で高得点を取得するためには、相当の数の複合動詞を熟知する必要があることが窺える。ただ、これらの数値は本稿で目標としている④JPT用の複合動詞のリスト作成のためにはあまり意味を持たないため、次節で有意義な分析を行うことにする。

4.2. JPT用のリスト

前述した通り、用例収集の対象にしたのは、原則としてJPT用の書籍として認められるものである。本稿ではそこで多く取り上げられるものほど、同試験に登場する可能性が高く、優先順位のJPT用の具体例として認めることができると考える。そこで、以下では、出現頻度を基準にして、また、先行研究のリストも参考にしつつ、そのJPT用のリストを作成する。具体的には、1)JPT用のV1、2)JPT用のV2、3)JPT用の複合動詞、という3つのリスト作成を試みる。なお、本稿におけるJPT用の複合動詞は「韓国人日本語学習者のため

の基本語彙」と位置づけることができる。

4.2.1. JPT用のV1

今回の調査を通して採集できたV1の異なり語数は計509語であった。表6はV1における頻度別異なり語数を示したものである。この結果からすると、例えば、頻度25に分類されている異なり語数は4語で、具体的には「立て～、聞き～、付き～、食い～」のそれぞれの複合動詞が25回ずつ登場したことになる。なお、V1としては「洗う、借りる」のような単純動詞の他に、1)複合動詞(見詰め直す、付き合い兼ねる)、2)「名詞+する」(減少し始める、稼働し続ける)、3)「副詞+する」(どきどきし始める、こってりし過ぎる)、4)受身動詞(使われ始める、言われ続ける)、5)使役動詞(習わせ始める、走らせ続ける)、6)謙讓表現(お答えし兼ねる)、7)動詞化表現(大きくなり過ぎる、大人になり切る)、8)イディオム(腹が立ち始める、白を切り続ける)などのようなものが含まれている10)。

〈表6〉 V1における頻度別異なり語数

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------------------|----|----|----|
| 頻度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 語数 | 211 | 66 | 49 | 26 | 20 | 18 | 16 | 12 | 4 | 9 | 1 | 4 | 2 | 3 | 4 |
| 頻度 | 17 | 18 | 19 | 20 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 33 | 34 |
| 語数 | 3 | 5 | 4 | 3 | 1 | 2 | 1 | 4 | 1 | 3 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 |
| 頻度 | 37 | 41 | 42 | 45 | 46 | 47 | 51 | 52 | 54 | 59 | 63 | 70 | 79 | 82 | 85 |
| 語数 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 頻度 | 87 | 88 | 101 | 103 | 108 | 117 | 118 | 173 | 264 | 272 | 451 | 複合動詞の延べ語数： 5,020語 | | | |
| 語数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | |

表7は頻度15まで、すなわち、頻度順第1位から第65位までの68語のV1を示したものである11)。なお、表7における括弧内の左側の数字は表6の頻度を、右側の数字はV2の異なり語数を表したものである。第14位の「落ち～」の場合、「落ち込む」と「落ち着く」がそれぞれ39回と40回ずつ生起し、頻度79という結果になっている。

〈表7〉 頻度順第1位から第65位までの68語のV1リスト

| | | | | | | | |
|----|-------------|----|-------------|----|-----------|----|------------|
| 順位 | V1 | 順位 | V1 | 順位 | V1 | 順位 | V1 |
| 1 | 見～ (451/53) | 18 | 押し～ (54/18) | 33 | 寝～ (30/6) | 50 | 酔い～ (20/2) |

10) 『複合動詞レキシコン』(国立国語研究所2015)の「統語的複合動詞と語彙的複合動詞の区別」では、V1として、1)「お忘れになりかける、お出しになり忘れる」のような尊敬動詞、2)「食べてしまいかける」のようなテ形動詞、3)「そしかける、そうなりかける」のような代名詞的表現も挙げられているので、併せて参照されたい。

11) 用例収集の対象にしたのは全15冊であり、同一の複合動詞が各書籍ごとに1回ずつ採集できたと仮定すれば、頻度は15になる。本稿ではこの数字を1つの基準にし、また、紙面の都合も考慮して頻度15までの例を挙げるが、あくまでも便宜上の提示であって、そこに深い意味はない。

| | | | | | | | |
|----|--------------|----|-------------|----|-------------|--------------|------------|
| 2 | 取り～ (272/44) | 19 | 売り～ (52/13) | 36 | 買い～ (29/16) | 53 | 寄り～ (19/3) |
| 3 | 引き～ (264/35) | 20 | 突き～ (51/13) | 37 | 考え～ (28/8) | | 使い～ (19/9) |
| 4 | 出～ (173/9) | 22 | 追い～ (51/15) | 38 | 踏み～ (27/9) | 走り～ (19/7) | |
| 5 | 乗り～ (118/14) | | 遣り～ (47/10) | | 召し～ (27/1) | 投げ～ (19/7) | |
| 6 | 立ち～ (117/21) | 23 | 振り～ (46/12) | 41 | 泣き～ (27/9) | 掛け～ (18/7) | |
| 7 | 受け～ (108/9) | | 話し～ (46/5) | | 巻き～ (26/6) | 当て～ (18/4) | |
| 8 | 差し～ (103/18) | 25 | 張り～ (45/12) | 42 | 立て～ (25/5) | 待ち～ (18/10) | |
| 9 | し～ (101/14) | 26 | 切り～ (42/15) | | 聞き～ (25/9) | 引っ繰り～ (18/2) | |
| 10 | 申し～ (88/8) | 27 | 降り～ (41/7) | | 付き～ (25/3) | でき～ (18/3) | |
| 11 | 持ち～ (87/17) | | 書き～ (41/19) | | 食い～ (25/6) | 似～ (17/1) | |
| 12 | 思い～ (85/14) | 29 | 行き～ (37/7) | 46 | 食べ～ (24/9) | 成り～ (17/3) | |
| 13 | 言い～ (82/26) | 30 | 飲み～ (34/9) | 47 | 駆け～ (23/7) | 組み～ (17/5) | |
| 14 | 落ち～ (79/2) | | 呼び～ (34/4) | | 吹き～ (23/12) | 働き～ (15/4) | |
| 15 | 飛び～ (70/13) | 32 | 割り～ (33/6) | 49 | 通り～ (22/4) | 流れ～ (15/5) | |
| 16 | 繰り～ (63/8) | 33 | 読み～ (30/13) | 50 | 歩き～ (20/6) | 掻き～ (15/9) | |
| 17 | 打ち～ (59/11) | | 盛り～ (30/5) | | 有り～ (20/3) | 込み～ (15/3) | |

また、表8は、参考までに野村雅昭・石井正彦(1987)、森田良行(1990：283)、張威(2010：76-75)において上位群のV1のリストを挙げたものである。但し、野村雅昭・石井正彦(1987)のリストは、4.2.2.のV2の場合と同一になるように上位30位までの例を提示し、張威(2010：76-75)の例は、V1が動詞ではない「気～、役～、近～」のようなものは除外した上、「差し～、歩き～、し～」に関しては同一のV1が2回ずつ挙げられているため、各々1つに修正して提示した。

〈表8〉 先行研究における上位ランキングのV1

| | |
|-----------------|---|
| 野村・石井 (1987) | 引き～、取り～、言い～、見～、打ち～、押し～、思い～、突き～、吹き～、書き～、掻き～、踏み～、切り～、立ち～、聞き～、し～、読み～、振り～、乗り～、食い～、飛び～、買い～、泣き～、追い～、ぶち～、持ち～、呼び～、出～、さし～、行き～、飲み～ (31語) |
| 森田良行 (1990) | 見～、取り～、言い～、引き～、打ち～、聞き～、切り～、書き～、押し～、立ち～、突き～、引っ～、差し～、思い～、し～、振り～、踏み～、乗り～、掻き～、食い～、飛び～、吹き～、持ち～、読み～、呼び～ (25語) |
| 張威(2010) | 見～、取り～、思い～、引き～、話し～、振り～、立ち～、出～、言い～、書き～、飛び～、繰り～、追い～、駆け～、突き～、読み～、切り～、受け～、押し～、投げ～、作り～、持ち～、組み～、吹き～、呼び～、走り～、聞き～、踏み～、降り～、打ち～、乗り～、生み～、し～、落ち～、使い～、通り～、流れ～、歩き～、考え～、かけ～、結び～、生き～、語り～、抱き～、逃げ～、跳ね～、泣き～、入り～、咲き～、握り～、飲み～、起き～、吸い～、笑い～、消え～、食い～、問い～、張り～、探し～、伝え～、掻き～、差し～、座り～、食べ～、送り～、折り～、成り～、覗き～、向き～、置き～、出し～、助け～、嘔き～、舞い～、感じ～、詰め～、引っ～、巻き～、待ち～、寄り～、積み～、埋め～、眠り～、潜り～、歩み～、つかみ～、付き～、包み～、絞り～ (89語) |

野村雅昭・石井正彦(1987)は文学作品・論説文・雑誌等及び現代語の国語辞書類から抽出したリストであり、森田良行(1990：283)は複数の国語辞典や分類語彙表など

から採集したものである。また、張威(2010:76-75)は日本の小・中・高の国語教科書から抽出した例であるため、これらは本稿のリストとはその出所が異なる。その上さらに、野村雅昭・石井正彦(1987)と森田良行(1990:283)の例は、本稿と張威(2010:76-75)の例のような頻度順の上位ランキングではなく、V1に立つことの多い順の上位ランキングであるため、同一条件での結果ではないという問題もあるが、表7と表8に共通するV1は相対的により頻繁に用いられるものと見てよいのではないだろうか。そのような考えのもとで、表7の68語を基準にして表8の例と共通するV1を整理したのが(5)である。(5a)は共通率100%であるもの、(5b)と(5c)はそれぞれ75%と50%であるものである。そして、(5d)は表8には挙げられていない例である。

- (5)a. 見～、取り～、引き(引っ)～、乗り～、立ち～、差し～、し～、持ち～、
 思い～、言い～、飛び～、打ち～、押し～、突き～、振り～、切り～、書
 き～、呼び～、読み～、踏み～、聞き～、食い～、吹き～、掻き～ (24語)
- b. 出～、追い～、飲み～、泣き～ (4語)
- c. 受け～、落ち～、繰り～、話し～、張り～、降り～、行き～、買い～、考え～、
 巻き～、付き～、食べ～、駆け～、通り～、歩き～、寄り～、使い～、走
 り～、投げ～、掛け～、待ち～、成り～、組み～、流れ～ (24語)
- d. 申し～、売り～、遣り～、割り～、盛り～、寝～、召し～、立て～、有り～、
 酔い～、当て～、引っ繰り～、でき～、似～、働き～、込み～ (16語)

このように整理してみると、JPT用の書籍にも先行研究で整理されている高頻度のV1が頻繁に用いられているということが見て取れる。そして、(5a～c)のリストは頻出のV1として重要であり、また、(5d)のリストも本稿の調査を通して選定されたものとしての意義があるといえることができる。これらは、今後、複合動詞の教育や教材作成などにおいてJPT用のV1の参考資料として活用することができるだろう。

4.2.2. JPT用のV2

V2の異なり語数は計325語が採集できた。V1の異なり語数509語と比べると、V2に立つ動詞の種類はかなり少ない結果となる。表9はV2における頻度別異なり語数を示したものであり、この結果からすると、例えば、頻度20に分類されている異なり語数は2語で、具体的には「～並ぶ」「～直る」のような複合動詞が20回ずつ生じたことになる。

〈表9〉 V2における頻度別異なり語数

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 頻度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 語数 | 97 | 55 | 23 | 13 | 18 | 10 | 9 | 7 | 8 | 6 | 6 | 3 | 3 | 3 | 4 |
| 頻度 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 23 | 24 | 26 | 28 | 30 | 31 | 33 | 34 | 35 |
| 語数 | 3 | 3 | 3 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 |
| 頻度 | 36 | 37 | 41 | 46 | 47 | 48 | 50 | 51 | 57 | 63 | 64 | 66 | 67 | 69 | 70 |
| 語数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 頻度 | 76 | 80 | 93 | 104 | 107 | 115 | 121 | 122 | 185 | 199 | 244 | 258 | 369 | 410 | |
| 語数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |

表10はV1と同様、頻度15まで、すなわち、頻度順第1位から第61位までの64語のV2を示したものである。括弧内の左側の数字はV1の異なり語数を、右側の数字は表9の頻度を表したものである。第18位の「～つかる」と第32位の「～組む」の場合、「見つかる」と「取り組む」がそれぞれ66回と34回採集できた結果が示されている。

〈表10〉 頻度順第1位から第61位までの64語のV2リスト

| 順位 | V2 | 順位 | V2 | 順位 | V2 |
|----|---------------|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 1 | ～込む (79/410) | 23 | ～抜く (15/50) | 44 | ～回す (5/21) |
| 2 | ～出す (68/369) | 24 | ～受ける (4/48) | 46 | ～並ぶ (2/20) |
| 3 | ～上げる (43/258) | 25 | ～兼ねる (20/47) | | ～直る (3/20) |
| 4 | ～掛ける (25/244) | | ～着く (4/47) | 48 | ～起こす (7/19) |
| 5 | ～付ける (41/199) | 27 | ～回る (13/46) | | ～寄る (6/19) |
| 6 | ～合う (58/185) | 28 | ～合わせる (13/41) | | ～落とす (10/19) |
| 7 | ～切る (38/122) | 29 | ～止める (9/37) | ～縮める (4/19) | |
| 8 | ～上がる (23/121) | 30 | ～立つ (12/36) | ～当たる (3/18) | |
| 9 | ～始める (74/115) | 31 | ～出る (14/35) | 52 | ～歩く (4/18) |
| 10 | ～過ぎる (49/107) | 32 | ～返る (12/34) | | ～逃げる (3/18) |
| 11 | ～替える (21/104) | | ～組む (1/34) | 55 | ～抜ける (6/17) |
| 12 | ～取る (16/93) | ～送る (1/33) | ～消す (3/17) | | |
| 13 | ～直す (25/80) | 34 | ～張る (5/33) | | ～戻す (3/17) |
| 14 | ～付く (19/76) | | ～詰める (9/33) | 58 | ～明ける (1/16) |
| 15 | ～返す (14/70) | ～寄せる (6/31) | ～違う (3/16) | | |
| 16 | ～入れる (14/69) | ～得る (9/31) | ～通す (6/16) | | |
| 17 | ～続ける (48/67) | 39 | ～会う (3/30) | 61 | ～届く (1/15) |
| 18 | ～つかる (1/66) | 40 | ～入(いる) (9/28) | | ～扱う (1/15) |
| 19 | ～払う (6/64) | 41 | ～越える (2/26) | | ～尽くす (8/15) |
| 20 | ～掛かる (17/63) | 42 | ～終わる (11/24) | | ～下げる (5/15) |
| 21 | ～越す (7/57) | 43 | ～渡す (6/23) | | |
| 22 | ～立てる (17/51) | 44 | ～落ちる (9/21) | | |

また表11は、参考までに野村雅昭・石井正彦(1987)、森田良行(1990:284)、張威(2010:75-74)における上位群のV2のリストを挙げたものである。但し、張威(2010:75-74)の場合、「～下り」のような誤植については適切な修正を加えた¹²⁾。なお、野村雅

昭・石井正彦(1987)のリストは姫野昌子(1999：25)においても挙げられている。

〈表11〉 先行研究における上位ランキングのV2

| | |
|-----------------------------------|---|
| 野村・石井 (1987) 姫野昌子 (1999) | ～出す、～得る、～始める、～合う、～掛ける、～込む、～切る、～過ぎる、～続ける、～付ける、～上げる、～兼ねる、～掛かる、～尽くす、～付く、～返す、～立てる、～直す、～上がる、～取る、～合わせる、～去る、～終わる、～入る、～立つ、～替える、～抜く、～通す、～出る、～返る (30語) |
| 森田良行 (1990) | ～込む、～付ける、～付く、～出す、～上げる、～合う、～立てる、～取る、～切る、～立つ、～合わせる、～上がる、～返す、～掛ける、～掛かる、～入る、～出る、～抜く、～入れる、～落とす、～回る、～反る、～直す、～張る、～回す (25語) |
| 張威(2010) | ～出す、～込む、～合う、～あげる、～立つ、～始める、～かける、～返す、～続ける、～上がる、～取る、～つける、～掛ける、～回る、～付ける、～つめる、～直す、～切る、～返す、～立てる、～去る、～張る、～付く、～過ぎる、～入れる、～向く、～づく、～かかる、～回す、～寄る、～出る、～会う、～着く、～換える、～渡す、～合わせる、～尽くす、～起こす、～戻す、～組む、～分ける、～抜ける、～浮かべる、～合わせる、～寄せる、～止まる、～しめる、～得る、～掛かる、～捨てる、～替える、～抜く、～終わる、～かえる、～づける、～表す、～詰める、～入る、～止める、～かける、～落ちる、～込める、～あわせる、～飛ばす、～守る、～送る、～続く、～すぎる、～歩く、～流す、～落とす、～散らす、～比べる、～残る、～放す、～巻く、～開く、～切れる、～曲がる、～受ける、～重ねる、～倒す、～締める、～払う、～継ぐ、～逃す、～下りる、～下ろす、～越す、～通す、～消す、～越える、～指す、～つぶす、～ぬける、～放つ、～慣れる、～果てる、～絞る、～散る (100語) |

V1の場合と同様に、表10の64語を基準にして表11の例と共通するV2を整理すると、以下ようになる。(6a)は共通率100%であるもの、(6b)と(6c)はそれぞれ75%と50%であるものである。そして、(6d)は表11には挙げられていないものである。

- (6a). ～込む、～出す、～上げる、～掛ける、～付ける、～合う、～切る、～上がる、～取る、～直す、～付く、～返す、～掛かる、～立てる、～抜く、～合わせる、～立つ、～出る、～返る、～入る (20語)
- b. ～始める、～過ぎる、～替える、～入れる、～続ける、～回る、～張る、～得る、～終わる、～回す、～落とす、～通す、～尽くす (13語)
- c. ～払う、～越す、～受ける、～兼ねる、～着く、～止める、～組む、～送る、～詰める、～寄せる、～会う、～越える、～渡す、～落ちる、～起こす、～寄る、～詰める、～歩く、～抜ける、～消す、～戻す (21語)
- d. ～つかる、～並ぶ、～直る、～当たる、～逃げる、～明ける、～違う、～届く、～扱う、～下げる (10語)

12) 張威(2010：75-74)のリストでは、「～かける、～掛ける」「～つける、～付ける」「～かかる、～掛かる」「～あわせる、～合わせる」「～すぎる、～過ぎる」「～ぬける、～抜ける」「～しめる、～締める」「～つめる、～詰める」がそれぞれ別のV2として挙げられている。これは分析上の不備と思われるが、用法を区別するために意図的に区別した可能性があると判断したので、全てのリストをそのまま提示した。

このように分類してみると、先行研究で挙げられている高頻度のV2は、JPT用の書籍にも頻繁に用いられているということが見て取れる。そして、(6a~c)のリストは頻出のV2として重要であり、また、(6d)のリストも本稿の調査を通して選定されたものとしての意義がある。これらは、今後、複合動詞の指導や学習などの際に、JPT用のV2の参考資料として活用することができるだろう。

4.2.3. JPT用の複合動詞

今回の調査で得られた複合動詞の異なり語数は計1,369語である。表12は複合動詞における頻度別異なり語数を示したものである。

〈表12〉複合動詞における頻度別異なり語数

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 頻度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 語数 | 660 | 226 | 137 | 71 | 50 | 42 | 27 | 25 | 19 | 18 | 12 | 8 | 15 | 7 | 9 |
| 頻度 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 27 | 31 | 32 | 33 | 34 |
| 語数 | 4 | 2 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 頻度 | 37 | 39 | 40 | 44 | 46 | 55 | 66 | 129 | 複合動詞の延べ語数：5,020語 | | | | | | |
| 語数 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 複合動詞の異なり語数：1,369語 | | | | | | |

表13はV1・V2の場合と同様に頻度15まで、すなわち、頻度順第1位から第44位までの52語の複合動詞を示したものである。括弧内の左側の数字は採集できた出典の異なり語数を、右側の数字は表12の頻度を表したもので、第1位の「出掛ける¹³⁾」の場合、15冊の全ての書籍で合計129回登場したことになる。出典の異なり語数の平均で言えば、表13の各例は9.99冊の書籍で生じた計算になる。

〈表13〉頻度順第1位から第44位までの52語の複合動詞リスト

| 順位 | 複合動詞 | 順位 | 複合動詞 | 順位 | 複合動詞 |
|----|---------------|----|---------------|---------------|---------------|
| 1 | 出掛ける (15/129) | 19 | 召し上がる (12/27) | 34 | 取り付ける (10/18) |
| 2 | 見付かる (14/66) | | 呼び掛ける (11/27) | 38 | 似合う (9/17) |
| 3 | 見付ける (13/55) | 21 | 見直す (9/25) | | 40 |
| 4 | 思い出す (11/46) | 22 | 乗り出す (10/24) | 見上げる (8/16) | |
| | 申し上げる (10/46) | 23 | 引き上げる (11/23) | 飲み過ぎる (10/16) | |
| 6 | 引き受ける (13/44) | 24 | 乗り越える (8/22) | | 引っ張る (7/16) |

13) 念のために補足するが、「出掛ける」は「形態論的分析からあくまでも複合動詞であり」(山本清隆1992: 427、引用者による微修正)、『複合動詞資料集』(野村雅昭・石井正彦1987)・『Webデータに基づく複合動詞用例データベース』(国立国語研究所2012)・『複合動詞レキシコン』(国立国語研究所2015)にも収録されている。ちなみに、森山卓郎(1988: 45)の「複合動詞とは形態的な定義の仕方である。すなわち、動詞が複数個集まって(音韻的に)全体として一つの動詞のような振る舞いをするものである」という定義も参照されたい。

| | | | | | |
|----|---------------|----|---------------|----|--------------|
| 7 | 落ち着く (12/40) | 26 | 出会う (8/22) | 44 | 打ち明ける (7/16) |
| | 繰り返す (10/40) | | 立ち上がる (9/21) | | 見合わせる (8/15) |
| 9 | 落ち込む (11/39) | 28 | 売出す (7/21) | 44 | 巻き込む (9/15) |
| | 受け取る (13/39) | | 見掛ける (8/20) | | 寄り掛かる (9/15) |
| 12 | 支払う (10/39) | 30 | 申し込む (9/20) | 44 | 成り立つ (7/15) |
| | 引っ越す (13/37) | | 突っ込む (8/19) | | 泣き出す (9/15) |
| 13 | 差し上げる (13/34) | 30 | 立ち並ぶ (11/19) | 44 | 張り切る (10/15) |
| | 取り込む (11/34) | | 付き合う (8/19) | | 出来上がる (7/15) |
| 15 | 見送る (11/33) | 34 | 酔っ払う (8/19) | 44 | 取り扱う (9/15) |
| | 飛び出す (14/33) | | 降り出す (9/18) | | 行き届く (7/15) |
| 17 | 受け入れる (11/32) | 34 | 仕上げる (9/18) | 44 | |
| 18 | 話し合う (9/31) | | 盛り上がる (10/18) | | |

また表14は、頻度10まで、すなわち、頻度順第53位から第95位までの60語の複合動詞を表したものである。出典の異なり語数の平均で言えば、表14の各例は6.7冊の書籍で現れたことになる。

〈表14〉 頻度順第53位から第95位までの60語の複合動詞リスト

| 順位 | 複合動詞 | 順位 | 複合動詞 | 順位 | 複合動詞 |
|-------------|---------------|----|--------------|----|--------------|
| 53 | 見守る (5/14) | 60 | 寝転ぶ (8/13) | 83 | 打ち出す (5/11) |
| | 見込む (6/14) | | 通り過ぎる (8/13) | | 話し掛ける (6/11) |
| | 受け止める (7/14) | 75 | 遣り直す (7/12) | 95 | 見抜く (6/10) |
| | 乗り替える (6/14) | | 見兼ねる (6/12) | | 見出す (8/10) |
| | 持ち歩く (6/14) | | 踏み切る (9/12) | | 見下ろす (8/10) |
| | 持ち込む (9/14) | | 歩き回る (6/12) | | 恐れ入る (7/10) |
| 割り込む (9/14) | 押し寄せる (5/12) | | 駆け付ける (8/10) | | |
| 60 | 見詰める (8/13) | 83 | 言い切る (5/12) | 95 | 逃げ出す (6/10) |
| | 当て嵌まる (4/13) | | 持ち出す (5/12) | | 冷え込む (6/10) |
| | 立ち直る (7/13) | | 追い付く (7/12) | | 立ち寄る (8/10) |
| | 飛び込む (6/13) | | 降り続く (6/11) | | 抜け出す (6/10) |
| | 受け付ける (10/13) | | 遣り送る (8/11) | | 思い付く (7/10) |
| | 乗り切る (8/13) | | 見舞う (6/11) | | 乗り込む (5/10) |
| | 言い出す (7/13) | | 立ち向かう (6/11) | | 引き替える (7/10) |
| | 有り得る (8/13) | | 乗り遅れる (7/11) | | 引き取る (6/10) |
| | 振り向く (7/13) | | 申し出る (5/11) | | 入れ替える (6/10) |
| | 差し出す (9/13) | | 引き摺る (6/11) | | 組み立てる (6/10) |
| | 取り消す (6/13) | | 持ち上げる (6/11) | | 差し掛かる (6/10) |
| | 取り出す (9/13) | | 取り付く (5/11) | | 取り除く (5/10) |
| | 取り戻す (10/13) | | 打ち込む (5/11) | | 向かい合う (7/10) |

さらに、(7a)は頻度9の19語を示したものであり、(7b)は頻度8の25語を表したものである。合計44語で順位としては表14の最後の例の後に続く。出典の異なり語数の平均で言

えば、(7)の各例は5.23冊の書籍で用いられたことになる。

- (7)a. 見極める(6/9)、見当たる(5/9)、見渡す(7/9)、見逃す(6/9)、買い替える(6/9)、売り切れる(6/9)、引っ掛かる(6/9)、引っ掛ける(2/9)、引っ繰り返す(6/9)、引っ繰り返る(5/9)、込み上げる(5/9)、座り込む(6/9)、増え続ける(5/9)、振り返る(6/9)、振り回す(4/9)、差し込む(6/9)、焦げ付く(4/9)、取り寄せる(6/9)、取り込む(4/9) (19語)
- b. 見計らう(4/8)、考え込む(5/8)、突き当たる(3/8)、立て替える(6/8)、仕入れる(6/8)、咲き乱れる(5/8)、食い違う(4/8)、食い止める(6/8)、食べ過ぎる(7/8)、押し付ける(5/8)、言い渡す(5/8)、引き出す(4/8)、引き下げる(4/8)、引っ込む(4/8)、切り替える(5/8)、繰り返る(6/8)、持ち帰る(6/8)、差し支える(6/8)、着替える(4/8)、追い込む(7/8)、取り掛かる(6/8)、取り入れる(5/8)、取り止める(4/8)、取り替える(6/8)、詰め込む(6/8) (25語)

以上、頻度順に合計156語の複合動詞を適宜3つのグループに分けて提示した。参考までに、この「3つのグループに分けて提示した」と「結果的に156語の複合動詞を挙げるようになった」背景には、張威(2010:78)の「日本語教育でどんな複合動詞の語彙をどれくらい導入すればよいかを考える際、学習者のニーズと条件に合わせて上位100語、上位200語、上位300語を選択して計画的に教えれば、当面では極めて深刻である複合動詞の使い方が分からないという非母語話者学習者の問題はかなり緩和することが可能であろう」という指摘を参考にしつつ、紙面の都合という点に加えて、「複合動詞の指導・学習への負担の軽減」という狙いが含まれている。しかし、上記の3つのグループ分けと156語の複合動詞の提示はあくまでも便宜的なものであって、どのぐらいの複合動詞をどのような形で提示すればよいのかという問題は決して簡単なことではない。

今までの分析を十分に踏まえた上で、表13・表14・(7)の例を基準にして、(4)に挙げた張威(2010:78-77)の例と一致するものと一致しないものとを区別したのが(8)と(9)である。前者が一致するリストであり、後者が一致しないリストである。

- (8) 出掛ける、見付ける、思い出す、落ち着く、繰り返す、受け取る、引っ越す、取り込む、見送る、飛び出す、受け入れる、話し合う、呼び掛ける、見直す、出会う、立ち上がる、取り付ける、取り上げる、見上げる、引っ張る、見合わせる、成り立つ、泣き出す、出来上がる (以上、表13の24語) / 見守る、受け止める、

見詰める、飛び込む、言い出す、振り向く、差し出す、取り出す、通り過ぎる、歩き回る、持ち出す、引き摺る、持ち上げる、話し掛ける、見下ろす、逃げ出す、思い付く、乗り込む（以上、表14の18語） / 見渡す、振り返る、考え込む、押し付ける、引き出す、取り入れる（以上、(7)の6語）（合計48語）

- (9) 見分かる、申し上げる、引き受ける、落ち込む、支払う、差し上げる、召し上がる、乗り出す、引き上げる、乗り越える、売り出す、見掛ける、申し込む、突っ込む、立ち並ぶ、付き合う、酔っ払う、降り出す、仕上げる、盛り上がる、似合う、飲み過ぎる、打ち明ける、巻き込む、寄り掛かる、張り切る、取り扱う、行き届く（以上、表13の28語） / 見込む、乗り替える、持ち歩く、持ち込む、割り込む、当て嵌まる、立ち直る、受け付ける、乗り切る、有り得る、取り消す、取り戻す、寝転ぶ、遣り直す、見兼ねる、踏み切る、押し寄せる、言い切る、追い付く、降り続く、遣り遂げる、見舞う、立ち向かう、乗り遅れる、申し出る、取り付く、打ち込む、打ち出す、見抜く、見出す、恐れ入る、駆け付ける、冷え込む、立ち寄り、抜け出す、引き替える、引き取る、入れ替える、組み立てる、差し掛かる、取り除く、向かい合う（以上、表14の42語） / 見極める、見当たる、見逃す、買い替える、売り切れる、引っ掛かる、引っ掛ける、引っ繰り返す、引っ繰り返る、込み上げる、座り込む、増え続ける、振り回す、差し込む、焦げ付く、取り寄せる、取り込む、見計らう、突き当たる、立て替える、仕入れる、咲き乱れる、食い違う、食い止める、食べ過ぎる、言い渡す、引き下げる、引っ込む、切り替える、練り上げる、持ち帰る、差し支える、着替える、追い込む、取り掛かる、取り止める、取り替える、詰め込む（以上、(7)の38語）（合計108語）

この156の例のうち、(8)の48語の複合動詞は、本稿の調査を通して高頻出のものとして認定されただけではなく、先行研究のリスト、具体的には、日本の小・中・高の国語教科書から抽出した高頻度上位90語と一致するものでもあるので、重要な語として認めることができるだろう。本稿では、(8)の48語を頻度順という観点から他の複合動詞より相対的に重要な④ JPT用の複合動詞として見做したい¹⁴⁾。

14) JPT日本語能力試験は、TOEIC試験を主管している韓国のYBMが実施・管理しており、同機関ではJPT試験の「出題基準」と「過去問題」を公開しない。従って、当該の二つに見られる複合動詞と本稿の調査を通して得られた複合動詞とを対照することはできなかったことを付け加えておく。

5. まとめ

本稿は「韓国入学者のための日本語の複合動詞」に関する研究の一環として、④ JPT用の複合動詞のリスト作成を試みたものである。その結果、具体的に以下のようなものを重要なリストとして選定した。また、このうち、表16の上段の48語の複合動詞を他の複合動詞に比べて相対的により重要な④JPT用の複合動詞として見做した。

〈表15〉本稿で選定した重要なV1・V2リスト

| | |
|-------------|--|
| V1 (68語) | 見～、取り～、引き(引)～、乗り～、立ち～、差し～、し～、持ち～、思い～、言い～、飛び～、打ち～、押し～、突き～、振り～、切り～、書き～、呼び～、読み～、踏み～、聞き～、食い～、吹き～、掻き～、出～、追い～、飲み～、泣き～、受け～、落ち～、繰り～、話し～、張り～、降り～、行き～、買い～、考え～、巻き～、付き～、食べ～、駆け～、通り～、歩き～、寄り～、使い～、走り～、投げ～、掛け～、待ち～、成り～、組み～、流れ～ / 申し～、売り～、遣り～、割り～、盛り～、寝～、召し～、立て～、有り～、酔い～、当て～、引繰り～、でき～、似～、働き～、込み～ |
| V2 (64語) | ～込む、～出す、～上げる、～掛ける、～付ける、～合う、～切る、～上がる、～取る、～直す、～付く、～返す、～掛かる、～立てる、～抜く、～合わせる、～立つ、～出る、～返る、～入る、～始める、～過ぎる、～替える、～入れる、～続ける、～回る、～張る、～得る、～終わる、～回す、～落とす、～通す、～尽くす、～払う、～越す、～受ける、～兼ねる、～着く、～止める、～組む、～送る、～詰める、～寄せる、～会う、～越える、～渡す、～落ちる、～起こす、～寄る、～締める、～歩く、～抜ける、～消す、～戻す / ～つかる、～並ぶ、～直る、～当たる、～逃げる、～明ける、～違う、～届く、～扱う、～下げる |

〈表16〉本稿で選定した重要な④JPT用の複合動詞リスト

| | |
|--------------|--|
| CV (48語) | 出掛ける、見付ける、思い出す、落ち着く、繰り返す、受け取る、引越す、取り込む、見送る、飛び出す、受け入れる、話し合う、呼び掛ける、見直す、出会う、立ち上がる、取り付ける、取り上げる、見上げる、引張る、見合わせる、成り立つ、泣き出す、出来上がる、見守る、受け止める、見詰める、飛び込む、言い出す、振り向く、差し出す、取り出す、通り過ぎる、歩き回る、持ち出す、引き摺る、持ち上げる、話し掛ける、見下ろす、逃げ出す、思い付く、乗り込む、見渡す、振り返る、考え込む、押し付ける、引き出す、取り入れる |
| CV (108語) | 見付かる、申し上げる、引き受ける、落ち込む、支払う、差し上げる、召し上がる、乗り出す、引き上げる、乗り越える、売り出す、見掛ける、申し込む、突っ込む、立ち並ぶ、付き合う、酔っ払う、降り出す、仕上げる、盛り上がる、似合う、飲み過ぎる、打ち明ける、巻き込む、寄り掛かる、張り切る、取り扱う、行き届く、見込む、乗り替える、持ち歩く、持ち込む、割り込む、当て嵌まる、立ち直る、受け付ける、乗り切る、有り得る、取り消す、取り戻す、寝転ぶ、遣り直す、見兼ねる、踏み切る、押し寄せる、言い切る、追い付く、降り続く、遣り遂げる、見舞う、立ち向かう、乗り遅れる、申し出る、取り付く、打ち込む、打ち出す、見抜く、見出す、恐れ入る、駆け付ける、冷え込む、立ち寄る、抜け出す、引き替える、引き取る、入れ替える、組み立てる、差し掛かる、取り除く、向かい合う、見極める、見当たる、見逃す、買い替える、売り切れる、引掛かる、引掛ける、引繰り返す、引繰り返る、込み上げる、座り込む、増え続ける、振り回す、差し込む、焦げ付く、取り寄せる、取り込む、見計らう、突き当たる、立て替える、仕入れる、咲き乱れる、食い違ふ、食い止める、食べ過ぎる、言い渡す、引き下げる、引込む、切り替える、繰り上げる、持ち帰る、差し支える、着替える、追い込む、取り掛かる、取り止める、取り替える、詰め込む |

筆者は、李忠奎(2015: 190-191)においても指摘したことであるが、韓国人学習者を念頭において作成した複合動詞専用の教材が必要であるという認識を持っており、今後の課題として『韓国人学習者のための日本語の複合動詞』(仮題)という教材を作成しようと考えている。その際に、本稿で構築したデータベースに収録されている諸情報と表15・表16のリストは有用な参考資料として活用することができ、資料提供という意味で本稿で構築したデータベースと各リストは一定の研究成果として評価することができると思われる。ただ、前述した通り、このような類の研究は、どのぐらいのリストをどのような形で提示すればよいのかという問題、つまり、提示する語の「範囲」と「示し方」の問題が必然的に発生し、この問題に関しては本稿においてもその対応が十分であったとは言えない。また、本来であるならば、表15・表16のリストがJPT用の複合動詞として「実際にどれほど有効なのか」というところまで検証すべきだったが、そこまではできなかった。今後の課題にしたい。

【参考文献】

- 배덕희(2001) 「일본어 복합동사 교육에 관하여—한국어 화자를 대상으로—」 『人文科学研究』 제10집, 상명대학교 인문과학연구소, pp.1-18.
- 양호성(2013) 「일본어 복합동사의 일한번역에 관한 일고찰—강조 복합동사를 중심으로—」 『日本近代学研究』 39, 韓国日本近代学会, pp.67-86.
- 俞長玉(1993) 「日本語 複合動詞의 類型分析—韓國語의 対応様相을 中心으로—」 『語文学研究』 6, 대구효성가톨릭대학교 외국어문학연구소, pp.151-241.
- 이혜경(2009) 「고등학교 일본어 교과서에 나타난 복합동사에 관한 고찰」 계명대학교 교육대학원 일어교육전공 석사학위 논문, pp.1-55.
- 李忠奎(2009) 「『日韓複合動詞辞典』의 編纂에 關한 一編纂作業에 對한 考處すべき點을 中心으로—」 『日本文化學報』 第43輯, 韓国日本文化学会, pp.57-70.
- (2015) 「複合動詞에 關한 日韓對照研究의 現狀과 課題」 『日本語文學』 第65輯, 韓国日本語文學會, pp.167-195. (<http://dx.doi.org/10.18704/kjll.2015.06.65.167>)
- (2016) 「韓国人からみた日本語の複合動詞—回顧と今後の課題—」 『日本語文學』 第68輯, 韓国日本語文學會, pp.83-110. (<http://dx.doi.org/10.18704/kjll.2016.03.68.83>)
- 影山太郎(1999) 『形態論と意味』 くろしお出版, pp.188-189.
- 国立国語研究所(2012) 『Webデータに基づく複合動詞用例データベース』 (<http://csd.ninjal.ac.jp/comp/>)
- (2015) 『複合動詞レキシコン』 (<http://vlexicon.ninjal.ac.jp>)
- 張威(2009a) 「小学校国語教科書に対する複合動詞の実態調査とその分析—第二言語習得学習ストラテジーの改善をめざして—」 『北研学刊』 第5期, 白帝社, pp.27-46.
- (2009b) 「中学校国語教科書に対する複合動詞の実態調査とその分析—第二言語習得学習ストラテジーの改善をめざして—」 『論集：異文化としての日本』 名古屋大学大学院国際言語文化研究科, pp.123-132.
- (2010) 「高校国語教科書に対する複合動詞の実態調査とその分析—第二言語習得学習ストラテジーの改善をめざして—」 『岩大語文』 15, 岩手大学語文学会, pp.89-73.

- 野村雅昭·石井正彦(1987)『複合動詞資料集』国立国語研究所.
姫野昌子(1999)『複合動詞の構造と意味用法』ひつじ書房、p.25.
森田良行(1990)「複合動詞について」『日本語学と日本語教育』凡人社、pp.278-295.
森山卓郎(1988)『日本語動詞述語文の研究』明治書院、p.45.
山本清隆(1992)「第三部 複合動詞辞書 複合動詞結合情報付き動詞辞書作成の試み」『ソフトウェア文書のための日本語処理の研究-11 計算機用レキシコンのために(3)』情報処理振興事業協会技術センター、pp.419-512.

【用例収集の資料・その他】

- 강성광(2011)『일본어 어휘의 달인이 되는 법』사람in (달인)
——(2015)『한권으로 끝내는 JPT VOCA』YBM더텍스트 (한권)
김기범(2012)『JLPT·JPT VOCA KING』성안당 (KING)
서경원(2009)『JPT 기출 2000 청해』YBM일본어 (기출20청)
——(2013)『다다익선 JPT 독해 PART8』YBM더텍스트 (다다익선)
——(2015)『JPT 기출 2000 독해』YBM더텍스트 (기출20독)
——(2015)『JPT 점수를 확 올려주는 5가지 시험요령 & 30가지 급소포인트』시사일본어사 (급소)
서경원·오유유키오(2013)『다다익선 JPT 독해 PART5/6/7』YBM더텍스트 (독해)
윤준호·박재욱(2009)『유형별·주제별로 똑똑하게 정리한 JPT 보카 한권으로 끝내기』다락원 (보카)
이장우(2008)『600점에 딱 맞춘 JPT』사람in (딱600)
——(2008)『800점에 딱 맞춘 JPT』사람in (딱800)
이종권(2010)『JPT 답이 보이는 단어장』YBM더텍스트 (단어장)
JPT초고수위원회(2012)『시나공 일본어 VOCA 15000』길벗이지톡 (시나공)
허윤정(2014)『JPT 정기시험 기출문제 1000』YBM더텍스트 (기출10)
허윤정·최지연(2010)『JPT 답이 보이는 실전모의고사1』YBM일본어 (실전)
JPT日本語能力試験(http://exam.ybmnet.co.kr/jpt/japan/japan01_1.asp)(檢索日:2017.02.20.)

| |
|--------------------------|
| 논문 투고 일자 : 2017. 03. 24. |
| 논문 심사 일자 : 2017. 05. 10. |
| 게재 확정 일자 : 2017. 05. 10. |

<要旨>

韓国人学習者のための日本語の複合動詞
—JPT日本語能力試験対策用のリスト作成—

李忠奎

本稿は「韓国人学習者のための日本語の複合動詞」に関する研究の一環として、「JPT日本語能力試験対策用の複合動詞」のリスト作成を試みたものである。その結果、以下の48語の複合動詞を重要な例として選定した。

出掛ける、見付ける、思い出す、落ち着く、繰り返す、受け取る、引っ越す、取り込む、見送る、飛び出す、受け入れる、話し合う、呼び掛ける、見直す、出会う、立ち上がる、取り付ける、取り上げる、見上げる、引っ張る、見合わせる、成り立つ、泣き出す、出来上がる、見守る、受け止める、見詰める、飛び込む、言い出す、振り向く、差し出す、取り出す、通り過ぎる、歩き回る、持ち出す、引き摺る、持ち上げる、話し掛ける、見下ろす、逃げ出す、思い付く、乗り込む、見渡す、振り返る、考え込む、押し付ける、引き出す、取り入れる

上記の48語は、本稿の計量調査を通して高頻出のものとして認定された上に、先行研究のリスト、具体的には、日本の小・中・高の国語教科書から抽出した高頻度上位90語と一致するものでもあるので、他の複合動詞に比べて相対的により重要な語といえる。これらは韓国人日本語学習者を対象とした複合動詞の指導・学習や教材作成などにおいて参考資料として活用できるだろう。

Japanese Compound Verbs for Korean Learners
—A List of Compound Verbs for Japanese Proficiency Test—

Lee, Chung-Kyu

The purpose of this paper is to make a list of compound verbs for Japanese Proficiency Test (JPT). As a result, the following 48 highest ranking Japanese compound verbs are selected for JPT.

de-kakeru, mi-tukeru, omoi-dasu, oti-tuku, kuri-kaesu, uke-toru, hik-kosu, tori-komu, mi-okuru, tobi-dasu, uke-ireru, hanasi-au, yobi-kakeru, mi-naosu, de-au, tati-agaru, tori-tukeru, tori-ageru, mi-ageru, hip-paru, mi-awaseru, nari-tatu, naki-dasu, deki-agaru, mi-mamoru, uke-tomeru, mi-tumeru, tobi-komu, ii-dasu, huri-muku, sasi-dasu, tori-dasu, toori-suguru, aruki-mawaru, moti-dasu, hiki-zuru, moti-ageru, hanasi-kakeru, mi-orosu, nige-dasu, omoi-tuku, nori-komu, mi-watasu, huri-kaeru, kanggae-komu, osi-tukeru, hiki-dasu, tori-ireru

Based on the result, this paper suggests that the compound verbs illustrated above can be available for Japanese education.